

2013年度 牧羊者 第Ⅳ巻

中高科へのヒント 1～3月

(1/5、2/16～23、3/23～30 石田高保、1/12～2/9、3/2～3/16 後藤健一)

1/5

●話し合ってみよう

忘れてしまいたい記憶がありますか。新しい自分になりたいと思いますか。

●観察してみよう

1. 「自分のために」生きるほかに、どのような生き方があると書かれていますか(15)
2. どうすればそのような生き方ができるのでしょうか。

●考えてみよう

1. 「キリストを肉によって知っていた」(16)、とはどういうことでしょうか。
2. 「キリストにある」(17) とは、どういうことでしょうか。
3. 「古いものは過ぎ去った」とは、どういう経験を指すのでしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. どうすればあなたも新しく造られることができるのでしょうか。
2. あなたはどのようなところが新しくされましたか。
3. イエス様との関係において新しくされたところは何ですか。

1/12

●話し合ってみよう

1. 理由のわからない苦難に会った事がありますか。その時、どんな気持ち、思いでしたか。また、もし、自分がそうになったら、どう思うと思いますか。

●観察してみよう

1. ヨブはどんな人だとありますか(1、3、5)。その家族については何がわかりますか(2、4)。
2. 主とサタンとの間でどんな会話が交わされていますか(6～12)。
3. ヨブはどんな苦難に会いましたか(13～19)。その中で、ヨブはどうしていますか(20～22)。

●考えてみよう

1. 1、5 節を読んでみて、あなたはヨブがどんな人だと思いますか。
2. 6～12 節にある、主とサタンとの会話についてヨブは知っていたでしょうか。また、13～19 節の苦難に、どうして自分が会ったかをヨブは知っていたでしょうか。
3. 理由のわからない苦難の中でヨブはどうして 20-22 節のようにしたのでしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. もし自分が、理由のわからない苦難に会った時、どうしたらいいと思いますか。

1/19

●話し合ってみよう

1. 「しあわせ」と思う時、また、「しあわせではない」と思う時はどんな時ですか。

●観察してみよう

1. 聖書には、どのような人が「さいわい」とありますか(1)。
2. 2～3節では「さいわい」な人について何とありますか。また、「悪しき者」については何とありますか(4～6)。
3. 主は「正しい者」(6)をどうされるとありますか(6)。

●考えてみよう

1. 1節のようにさいわいな人生を歩むために何が必要でしょうか(2, 3)。
2. 1節のようなさいわいな人生を歩む「正しい人」(1～3, 6)と、「悪しき者」(1, 4～6)とを比べると、何が違いますか。
3. 「主は正しい者の道を知られる」(6)とはどういう意味でしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. 本当の幸せな人生とは何でしょうか。
2. 本当の幸せな人生を歩むために、自分には、今、何が必要だと思いますか。

1/26

●話し合ってみよう

1. 自分を動物にたとえると、何の動物だと思いますか。それはなぜですか。

●観察してみよう

1. 1節で「わたし」は主について、何と告白していますか。
2. 主は「わたし」をどうしてくださる、と告白していますか(2～5)。
3. 1～5節を告白した後、「わたし」はとなると告白していますか(6)。

●考えてみよう

1. なぜ、「わたし」は主を羊飼いである「牧者」と告白したのでしょうか(1)。主が牧者であるなら、「わたし」は何でしょうか。羊はどんな動物でしょうか。
2. 2～5節には、主がして下さる事が告白されていますが、それは、「わたし」にとって、具体的に、どういう事を意味すると思いますか。
3. どうして、「わたし」は6節のように告白できたのでしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. あなたは、自分が羊のように弱い、と思いますか。それはなぜですか。
2. あなたは、主が牧者である事はさいわいだと思いますか。それはなぜですか。
3. あなたも良い羊飼いである主イエス様に信頼して、6節のように告白しませんか。

2/2

●話し合ってみよう

1. 今まで生きてきた中で、最大のピンチだった時の事を話し合ってみましょう。

●観察してみよう

1. 1節で、神様について何と告白されていますか。また、そのゆえに、2～3節にて、「われら」は何と告白していますか。
2. 4～5節には、神の都について、何と記されていますか。
3. 8, 10節にて、主は何と命じられていますか。

●考えてみよう

1. 2～3節には大きな状況の変化について記されていますが、そんな中でも「われらは恐れな」と告白されています。それはどうしてでしょうか(1)。
2. 4～5節は神の都についてですが、「一つの川」(4)とは何の事だと思いますか(ヨハネ 7・37～39)。また、この神の都の豊かさ、守りの根拠はどこにありますか。

3. 7～11 節において、「来て、主のみわざを見よ」(8)、「静まって、わたしこそ神であることを知れ」(10)と命じていますが、なぜでしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. 確かな守りと力、真の命の豊かさ、平和と尊厳はどこにあると思いますか。
2. 危機的状況が起こり得る人生において、あなたは誰に頼ろうと思いますか。

2/9

●話し合ってみよう

1. 聖書を読んだり、聖書のお話を聞いていて、よかった事は何かありますか。

●観察してみよう

1. 105 節では、神様のみことばについて何と告白されていますか。106 節ではそのみことばに対して、詩人はどうした、と記していますか。
2. みことばを実行した詩人でしたが、どんな試練の中を通りましたか。試練の中で、詩人は、どうしていますか(107、109～110)。
3. 詩人は神様のみことばについてどういう姿勢をもっていますか(108、111～112)。

●考えてみよう

1. 105 節のみことばは、詩人にとって、具体的にどういう意味でしょうか。
2. なぜ、詩人は、神様のみことばに対して、ここまで、心を傾けるのでしょうか。
3. 神様のみことばを信頼する事は、神様に対するどういう姿勢の現れでしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. 105 節のみことばの通りの経験をした事がありますか。それはどのような経験ですか。
2. 神様のみことばに対して、今のあなたは、どのような姿勢でしょうか。
3. 神様のみことばに聞き従うために、必要な事は何でしょうか。

2/16

●話し合ってみよう

- 人と違うことを言ったりやったりすることに勇気が要りますか。

●観察してみよう

1. 世の中の人はいエス様のことを誰だと言っていますか。
2. ペテロはいエス様のことを誰だと言っていますか。
3. ペテロがいエス様の真の姿を言い当てられたのは誰の力によるのですか。
4. キリストの教会は、どんなものに打ち勝てるのですか。

●考えてみよう

1. 「この岩」とは何のことでしょうか。
2. 「天国のかぎ」とは何でしょうか。これを授けられたのはペテロだけでしょうか。
3. 天国のかぎを使うと、どんなことができるのですか。

●自分に当てはめよう

1. あなたもいエス様を神の子キリストであると告白しますか。
2. あなたには天国のかぎが授けられていますか。
あなたは天国のかぎを使って何をしようと思いますか。

2/23

●話し合ってみよう

- 損か得かを考えるのは、どのような時ですか。

●観察してみよう

1. ペテロは 21 節の言葉を受け入れることができましたか。
2. ペテロはなぜイエス様から叱られているのですか (23)。
3. イエス様に従うためには、何をすることが必要なのですか (24)。

●考えてみよう

1. 人のことを思っている (23) とは、どういう意味でしょうか。
2. 自分を捨て、自分の十字架を負う (24) とは、どういうことでしょうか。
3. イエス様は誰のために自分の命を失おうとしておられたのでしょうか。
4. イエス様が弟子たちに、ご自分の未来を予告されたことをどう思いますか。

●自分に当てはめよう

1. あなたが「自分の命」のように大事にしているものは何ですか。
2. あなたにとって、「自分の十字架」とは何でしょうか。

3/2

●話し合ってみよう

1. とても尊敬する人と会った時、どんな気持ちになりますか。

●観察してみよう

1. イエス様と共に高い山に登った 3 人の弟子はどんな光景を目撃しましたか(1～3)。その光景を見て、ペテロは何と言っていますか(4)。
2. 5 節で弟子たちはどんな経験をし、神様から何と言われましたか(5)。その時の弟子たちはどんな様子ですか(6)。
3. 恐れて、ひれ伏す弟子達に、イエス様はどうされましたか(7)。弟子たちが顔を上げた時、誰が見えましたか(8)。

●考えてみよう

1. イエス様とモーセとエリヤは何を話していたのでしょうか(ルカ 9・31)。
2. なぜ父なる神様は弟子達に 5 節のように言われたのでしょうか。その時の状況(モーセとエリヤはいなくなった)を踏まえて、考えてみましょう (8、ルカ 9・35～36)。
3. なぜ、イエス様は 3 人の弟子に、このような特別な光景をお見せになったのでしょうか(3)。3 人はこの経験を通して何を学んだと思いますか (Ⅱ ペテロ 1・16～18)。

●自分に当てはめてみよう

1. あなたにとって、イエス様はどういうお方でしょうか。イエス様は他の人々と同列に並べる事の出来るお方でしょうか。それとも、同列にできない、人となってきてくださった唯一まことの神様ご自身でしょうか。
2. 私たちはイエス様に対してどう向き合うべきでしょうか(5)。

3/9

●話し合ってみよう

1. 今、使命感をもってやっていることはありますか。

●観察してみよう

1. ギリシャ人たちは弟子たちに何を願いましたか(20～21)。弟子たちはどうしましたか(22)。
2. その時、イエス様は何とおっしゃいましたか(23～28)。すると、父なる神様から、何とお声がありましたか(28)。

●考えてみよう

1. 23 節の「人の子が栄光を受ける時」とありますが、これは何を意味するのでしょうか。

うか。イエス様の言う栄光とは何でしょうか(27～28)。また、父なる神様の言う栄光とは何でしょうか(28)。この時のイエス様の状況と比較してみましょう(21)。

2. 24 節で「一粒の麦が地に落ちて死ななければ」とありますが、これは何を意味するのでしょうか。
3. 25～26 節の言葉は何を意味するのでしょうか。主に従う者の歩みはどういう歩みなののでしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. 自分の行きたい道、あるいは、世の常識で評価される道と、神様から与えられた使命の道とが違った場合、あなたは、どうしますか。
2. 主イエスが父なる神様からの使命の道を選んで、他の道を捨てて、一粒の麦となって、十字架にかかって死なれたように、あなたは神様から与えられた使命のために、主に従って、一粒の麦になりたいと思いますか。それはどうしてですか。
3. あなたに与えられている神様からの使命とは何だと思いますか。

3/16

●話し合ってみよう

1. 目上の方が自分のために仕えてくれた事がありますか。その時、どう思いましたか。または、もし仕えてくれたら、どう思うと思いますか。

●観察してみよう

1. どういう状況の中でイエス様は、弟子たちの足を洗ったのですか(1～5、11)。
2. ペテロの足を洗おうとするイエス様と、ペテロはどんな会話をしていますか(6～10)。
3. イエス様は、弟子たちの足を洗った事について何とおっしゃいましたか(12～15)。

●考えてみよう

1. イエス様が弟子たちの足を洗った事にはどんな意味があったのでしょうか。
2. 10～11 節はどういう意味でしょうか。
3. イエス様は弟子たちに「互に足を洗い合うべき」(14)と命じられましたが、これは何を意味するのでしょうか。

●自分に当てはめてみよう

1. あなたは主イエス様を信じて救いにあずかり、全身をきよめて頂いたのでしょうか。
2. あなたは、主イエス様を信じる信仰生活を日々送る中で、イエス様の十字架の血によって汚れ(罪)を洗っていただく必要があると思いますか(Ⅰヨハネ 1・7)。
3. あなたは、主イエス様のように他の信者を愛し、赦し、助け、そのしもべとなって仕えていきたいと思いますか。具体的に、誰に、何をしようと思いますか。

3/23

●話し合ってみよう

1. 弟子たちはなぜ「心を騒がせ」ていたのでしょうか。
2. 父の家のすまいとは、何を意味しているのでしょうか。
3. イエス様がまた来て迎えるとは、どういうことでしょうか。

●考えてみよう

1. どうしてイエス様は、神とご自分とを信じるように言われたのでしょうか。
2. それなのに弟子たちはなぜその道がわからなかったのでしょうか。
3. イエス様が道・真理・命であるとは、何を意味していますか。

4. 7節で、なぜイエス様は、弟子たちが「すでに父を見た」と言われたのでしょうか。

●自分に当てはめよう

1. イエス様の言葉と行いをとおして、神様の素晴らしさをどのように体験していますか。
2. 神様と交わる道、天国へ行くための道を知っていますか。

3
/ 30

●話し合ってみよう

あなたと心でつながっている人が身近にいますか。

●観察してみよう

1. イエス様はご自分を何だと言っておられますか。
2. イエス様は私たちのことを何だと言っておられますか。
3. イエス様につながっていなければ（より頼まなければ）どうなりますか。
4. イエス様につながっているとどんなよいことがありますか。

●考えてみよう

1. 私たちの霊的な命の源は誰のところにありますか。
2. イエス様につながっていることと、主の言葉がとどまっていることとはどう関係していますか。
3. イエス様により頼まないでも、うまくやれると思いますか。

●自分に当てはめてみよう

1. イエス様が握手を求めてこられたとしたら、あなたはどうしますか。
イエス様につながっていればどんな祈りもかなえられるという7節の約束を信じますか。